エコアクション21
環境活動レポート

平成29年8月17日

平成28年7月1日～平成29年6月30日迄

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0000839

株式会社ミカサ

〒390-0836
長野県松本市高宮北4-2

ＴＥＬ　0263-25-1500
ＦＡＸ　0263-27-3705

環　境　方　針

株式会社ミカサは、工業用品、環境用品、梱包資材の販売及び緩衝材の開発・設計・製造していることを踏まえ、私達の出来る最大限の環境活動を実施します。

「限りある資源」この言葉を再度認識し、私たち子孫の時代に資源を引き継ぎ、自然環境を守り、さらには地球全体の環境の為に、継続的に環境活動を行います。

1、当社の事業活動が地球環境に与える負荷を評価し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標・活動計画を定めて、環境経営の継続的な向上に努め、積極的な環境保護活動を行います。

2、環境に関連する法令や規制及びその他の要求事項を遵守し、利害関係者の見解に配慮します。また、これからは必要に応じて当社の自主基準を定め管理します。

3、当社の事業活動で環境負荷が以下の改善に努めます。

① 消費エネルギーを削減し、二酸化炭素排出量抑制／削減に努めます。
② 工程から排出される廃棄物の
　　３Ｒ（リデュース、リサイクル、リユース）を取り組みます。
③ 環境負荷の少ない製品の開発、設計に努めます。
④ 生物多様性保全に取り組みます。

2005 年　7 月　1 日　　：　初版制定
2010 年　9 月 30 日　　：　2 版制定

代表取締役社長

三澤　　敏宏

目次

1.	会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)	１Ｐ
2.	組織図	2Ｐ
3.	環境目標及び環境活動計画	3Ｐ
4.	主な取組の実績	4Ｐ
5-1.	環境活動とその結果(ガス使用量、灯油使用量)	5Ｐ
5-2.	環境活動とその結果（ガソリン・軽油使用量、重油使用量）	6Ｐ
5-3.	環境活動とその結果（コピー用紙使用量、温室効果ガス推移）	7Ｐ
5-4.	環境活動とその結果(電気使用量、上下水道使用量)	8Ｐ
6.	減溶チップ、産廃金額経年変化のグラフ（H23～H28）	9Ｐ
7.	ＥＡ２１経年変化のまとめグラフ（H17～H28）	10Ｐ
8.	防災訓練レポート	11Ｐ
9.	環境関連法規への違反、訴訟の有無	12Ｐ
10.	活動の見直し	13Ｐ
11.	代表者コメント	13Ｐ

1. 会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)

事業者名	株式会社ミカサ
代表者名	代表取締役社長　三澤　敏宏
所在地	長野県松本市高宮北4-2
環境管理責任者 〃　　担当者 〃　　連絡先	取締役専務　三澤　寛宗 同上 TEL　0263-25-1500　　FAX　0263-27-3705 e-mail　hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp
社内ＥＡ21ＥＭＳ事務局 〃　　連絡先	松本市高宮北4-2 ㈱ミカサ総務部内 TEL　0263-25-1500　　FAX　0263-27-3705 h-page **http://www.mikasa-nagano.co.jp** e-mail　hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp
事業の内容	旭化成工業株式会社製品の加工、販売 包装資材の販売 包装機械の販売 工業用品の販売 清掃用品及び消耗品の販売
事業の規模	従業員数　26名(パートも含む) 本社／長野県松本市高宮北4-2 工場／長野県松本市井川城1-4-7 床面積　2355㎡

ＥＡ２１対象範囲 (認証・登録範囲)	全組織（本社・井川城工場）・全活動

2.組織図

承認	審査	作成
三澤	三澤	三澤

最高経営者
代表取締役
三澤　敏宏

環境管理責任者
三澤　寛宗

環境保護推進委員会
委員長　：　三澤代表取締役
副委員長　：　環境管理責任者　三澤専務
委員　：　M常務、K工場長、T･Y、F･T

役割・責任

総務・経理部門
本社事務・経理担当
T･Y
事務所内EA21　総括

K．A　（ｻﾝﾃｯｸ･ﾒﾌ仕入量記録係）
チェック係（分別ﾁｪｯｸ、消灯ﾁｪｯｸ、温度ﾁｪｯｸ）
K．N
EA21 記録係

総務・経理
庶務等の管理
顧客対応

営業部門
営業部　常務取締役
M･Y
環境負荷のかからない製品設計、開発

営業責任者
営業部　部長
Y･N
営業部内エコドライブ管理

課長　M．S　係長　S･K
主任　K･T
事務所　ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、可燃物等計量係

顧客対応
新規品（製品、金型）設計
顧客管理

配送部門責任者
F･T
配送部門EA21　統括

O･T　Y･T
事務所　空缶計量係

商品配送
顧客対応
在庫整理

品質管理部門
工場長　SUB
K･Y　Y･K
品質管理アドバイザー　O･H
工場内EA21　総括

サンテックフォームカット・ブレス・スライス責任者
製造部　課長　K．M
減溶機管理、ｻﾝﾃｯｸ、ﾒﾌ端材管理、型の管理

A･O　K･T
減溶機管理、ｻﾝﾃｯｸ、ﾒﾌ端材管理、型の管理

ｻﾝﾃｯｸﾌｫｰﾑ、
ﾒﾌ等の加工全般

貼付・組立責任者
K･H（兼工場事務）
チェック係（分別ﾁｪｯｸ、消灯ﾁｪｯｸ、温度ﾁｪｯｸ）及び計量

K･T　Y･Y
I･A　T･S

アスパック責任者
S･Y
ｱｽﾊﾟｯｸの管理、ボイラー、重油の管理

加工全般

アスパックの
加工全般

環境目標及び環境活動計画

作成責任者　三澤　H28.7.1

赤字：環境目標（数値他）

青字：環境目標及び環境活動計画

	短期目標及び環境活動計画(H28.7.1～H29.6.30)	中期目標及び環境活動計画(H28.7.1～H30.6.30)
①廃棄物排出量の削減及び３Ｒ	・産業廃棄物排出量前年比1%削減（17.5ｔ） ・減溶率を前年比（H27.7.1～H28.6.30　17,600kg）に対し5%UP（18,480ｋｇ）。 （不良品、取り過ぎ材料を作らない） ・ﾒﾌやその他加工品端材はﾌﾛﾝﾃｨｱｽﾋﾟﾘｯﾄ　E・P・S様に産業廃棄物として処理する。 ・ﾌﾛﾝﾃｨｱｽﾋﾟﾘｯﾄ　E・P・S様よりRPF（固形燃料）として処理される。 ・ｶﾀﾛｸﾞ、雑誌、新聞、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、ｼｭﾚｯﾀｰ屑等はヤマカ資源回収様に有価で引き取って頂く。紙は有価物であり簡単にゴミ箱へ入れない様徹底する。 ・コピー用紙前年度比2%削減。（事務所　31,692枚　工場　2,939枚） ・ｻﾝﾃﾂｸ、ﾒﾌ等使用できる端材は破棄しない。 不良品率を下げ、無駄なゴミを出さない。 ・廃掃法に従った廃棄物処理を行う。 （毎年の契約書、その都度の業者の許可証のコピーを取り寄せ、マニフェストの発行と管理、実際の追跡）	・産業廃棄物排出量前年比3%削減（17.14ｔ） ・ﾒﾌのﾏﾃﾘｱﾙﾘｻｲｸﾙ化を考案。 ・減溶率を前年度比10%UPをめざす。（19,360ｋｇ） ・紙類のリサイクル率を上げ可燃物量の削減を実現する。 ・コピー用紙平成22年度比5%削減。（事務所　30,722枚　工場　2,849枚）
②二酸化炭素排出量の削減	・前期も二酸化炭素排出量もUPしてしまった。（平成19年度中部電力実排出係数0.47(kg-CO2/kWh)） ・今年度も前年比5%削減に取り組む。（130,144Kg-CO2） ・エアコンの室内温度は、夏28℃、冬23℃に設定。 ・ストーブは基本温度は23℃に設定。　前年度は過去最高量を消費してしまった。 （こまめな温度調整をお願いする。） ・昼食時の消灯。 ・使用していない場所の電気、エアコンを消す。 ・使用していない機械の電源を切る。 ・アイドリングストップ 急発進、急停車の禁止。（エコドライブの徹底） 前年燃費に対し3%UPを目標とする。（各車両ごと） ・社内に拘らず、社外に対してもｸｰﾙﾋﾞｽﾞ、ウォームﾋﾞｽﾞの推奨をお願いする。 ・社外に対しＣＯ２削減をお願いする為、弊社敷地内でのｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ禁止をお願いする。 ・松本市花いっぱい運動への寄付によりＣＯ２削減を外部組織との協働実施。	・二酸化炭素排出量を平成20年度比50%削減する。（133,790Kg-CO2） ・社内蛍光灯の総ＬＥＤ化推進。 ・アイドリングストップ、効率の良い運送経路の実現。（ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの実施） ・エコカーへの乗り換え推進。 ・H21平均燃費に対し5%UPを目標とする。次期車両の選定。（各車両ごと） ・引き続きお願いする。 ・引き続きお願いする。 ・引き続き参画。
③水使用量の削減	・節水の継続的取組み。(269㎥) （増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する）	・節水の継続的取組み。(269㎥)
④化学物質の管理	・化学物質を適正に管理する	・化学物質を適正に管理する
⑤法令等の遵守	・環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知。 （環境基本法～） ・ＭＳＤＳを会社で管理・社員に周知・対策検討。 ・防災検査結果の確認。 ・フロン排出抑制法対策。（エアコンの簡易点検実施）	・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底。 ・緊急時の訓練を年1回実施する。 ・環境教育の推進。
⑥環境教育の推進	・環境ﾐｰﾃｨﾝｸﾞを実施。 ・生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは３Ｒの推進であると再確認。ｻﾝﾃﾂｸﾌｫｰﾑのﾁｯﾌﾟ化によるﾘｻｲｸﾙ（工場）、通い箱の提案によるﾘﾕｰｽ（営業）紙ごみのリサイクル（全体）、ｺﾋﾟｰ数の削減ﾘﾃﾞｭｰｽ（全体）。 ・５Ｓ３定の徹底。	・社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する。 ・継続的な取り組みにより生物多様性保全への貢献。 ・５Ｓ３定の徹底。
⑦環境負荷の少ない商品の購入、開発	・ｻﾝﾃﾂｸ、ﾒﾌ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う。 ・商品開発をすすめ、「通い箱」などを提案・普及に努める。 ・グリーン購入の推進。	・ｻﾝﾃﾂｸ、ﾒﾌ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う。 ・商品開発をすすめ、「通い箱」などを提案・普及に努める。 ・分別しやすい設計を行う。 ・リサイクルマークを付ける設計を心がける。 ・自然素材の包装材の開発。 ・グリーン購入におけるリストの作成。

4.主な取組みの実績

赤字：環境目標（数値等）

青字：環境目標及び環境活動計画

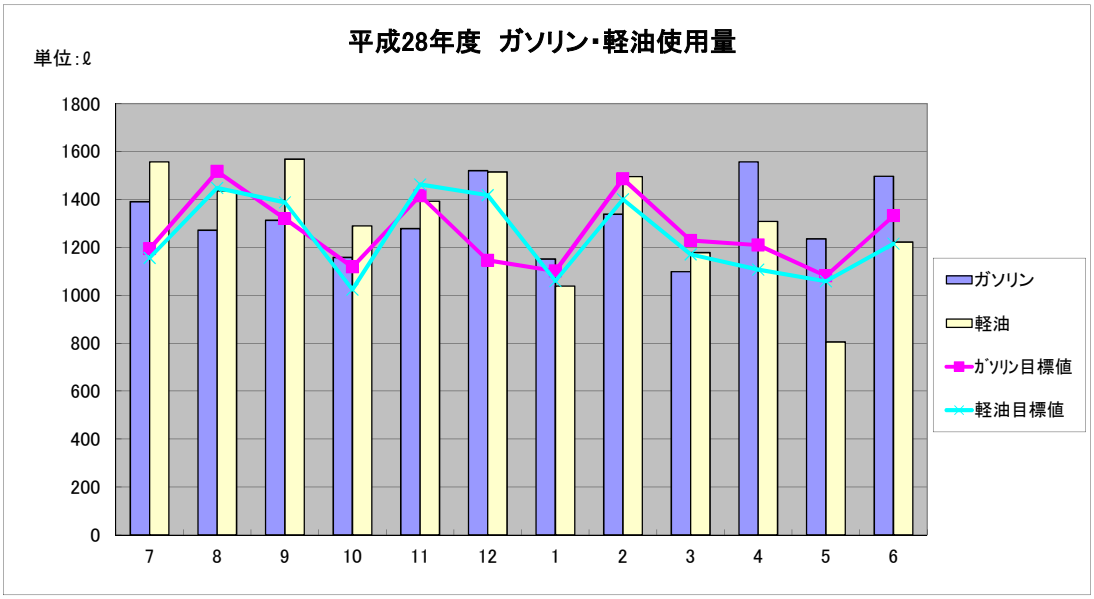
	実績	短期目標及び環境活動計画(H28.7.1～H29.6.30)	評価
①廃棄物排出量の削減及び３Ｒ	○ ×	・産業廃棄物排出量前年比1%削減（17.5ｔ） ・減溶率を前年比（H27.7.1～H28.6.30　17,600kg）に対し5%UP（18,480ｋｇ）。 （不良品、取り過ぎ材料を作らない）	・産業廃棄物排出量の目標17.5ｔに対し今年度は16.15ｔと目標達成となった。 ・今期減容量（15,160kg）と目標値(18,480kg)達成出来なかった。 買取価格が2016.2～@15/kgとなっていたが中国の政策で受け入れが一時的にストップしている影響で、2017.8～@10/ｋｇとなっている。 総金額では￥227,400と前年の￥386180より▲￥158,780となってしまった。
	○	・ﾒﾌやその他加工品端材はﾌﾛﾝﾃｨｱｽﾋﾟﾘｯﾄ　E･P･S様に産業廃棄物として処理する。 ・ﾌﾛﾝﾃｨｱｽﾋﾟﾘｯﾄ　E･P･S様よりRPF（固形燃料）として処理される。	
	○	・ｶﾀﾛｸﾞ、雑誌、新聞、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、ｼｭﾚｯﾀｰ屑等はヤマカ資源回収様に有価で引き取って 頂く。紙は有価物であり簡単にゴミ箱へ入れない様徹底する。	
	×	・コピー用紙前年度比2%削減。（事務所　31,692枚　工場　2,939枚）	・今期3月に事務所、工場と同時に複合機のリプレイスを行った。カウンター料金の見直しによりタンニングコスト的には効果が期待できる。 ・工場はＱＣプロジェクトの立ち上げにより大幅に増えてしまった。やむ終えないことではあるが不必要な印刷は控える意識は継続してほしい。
	△	・ｻﾝﾃﾂｸ、ﾒﾌ等使用できる端材は破棄しない。 不良品率を下げ、無駄なゴミを出さない。	・ＱＣ活動の成果として5S3定が定着し工場内倉庫が明らかに整理されている。 とり過ぎ材料や、不必要な在庫が無くなってきた。
	○	・廃掃法に従った廃棄物処理を行う。 （毎年の契約書、その都度の業者の許可証のコピーを取り寄せ、マニフェストの発行と管理、実際の追跡） マニフェストの発行と管理、実際の追跡）	
②二酸化炭素排出量の削減	×	・前期も二酸化炭素排出量もUPしてしまった。（平成19年度中部電力実排出係数0.47(kg-CO2/kWh）） ・今年度も前年比5%削減に取り組む。（130,144Kg-CO2）	・二酸化炭素排出量は目標達成には至らなかった。2,176/kg-CO２オーバーしてしまった。
	○	・エアコンの室内温度は、夏28℃、冬23℃に設定。	・電気では事務所側では目標達成までは至らなかった。＋370kWh
	×	・ストーブは基本温度は23℃に設定。　前年度は過去最高量を消費してしまった。 （こまめな温度調整をお願いする。）	・工場の電気は目標に対して△113kWhと達成出来た。エアコンのリプレイスの効果が多少あったと思われる。 ・課題であった工場のＬＥＤ化を今年度最後に実現出来た。来期のＬＥＤ効果が楽しみである。 ・事務所では今期最後にサーキュレーターを2台設置した。空気の循環により夏冬のエアコンや冬のストーブの効果に期待したい。
	○	・昼食時の消灯。	
	×	・使用していない場所の電気、エアコンを消す。	
	○	・使用していない機械の電源を切る。	・工場のトラックを3月にリプレイスした。燃費ＵＰに期待したい。
	○	・アイドリングストップ 急発進、急停車の禁止。（エコドライブの徹底）	
	○	前年燃費に対し3%UPを目標とする。（各車両ごと）	・ガソリン・軽油は未達成であった。今期4月よりガソリン車使用の営業が一人増員した。 目標達成は厳しい状況となったが、計画的に車両入替を行い補って行く。
	○	・社内に拘らず、社外に対してもｸｰﾙﾋﾞｽﾞ、ウォームﾋﾞｽﾞの推奨をお願いする。	・灯油は昨年に続き計測開始史上過去最高量を記録してしまった。 温度設定に問題はないか？暖かい日にも拘らず惰性で使用していないか？不在な場所で点けっぱなしにしていないか？ 来期は考えられる想定をすべてクリアにして目標達成を目指してほしい。
	○	・社外に対しＣＯ２削減をお願いする為、弊社敷地内でのｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ禁止をお願いする。	
	○	・松本市花いっぱい運動への寄付によりＣＯ２削減を外部組織との協働実施。	
③水使用量の削減	×	・節水の継続的取組み。(269㎥) （増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する）	・少しづつ増えている。 初心に戻り節水をお願いする。
④化学物質の管理	○	・化学物質を適正に管理する。	・化学物質管理規定に基づき適正に管理出来た。
法令等の遵守	○	・環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知 （環境基本法～）	・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底 ・緊急時の訓練を年1回実施した。
	○	・ＭＳＤＳを会社で管理・社員に周知・対策検討	
	○	・防災検査結果の確認	・環境教育の推進
	○	・フロン排出抑制法対策（エアコンの簡易点検実施）	
環境教育の推進	×	・環境ミーティングを実施	・社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する
	○	・生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは３Ｒの推進であると 再確認。ｻﾝﾃﾂｸﾌｫｰﾑのﾁｯﾌﾟ化によるﾘｻｲｸﾙ（工場）、通い箱の提案によるﾘﾕｰｽ（営業） 紙ごみのリサイクル（全体）、ｺﾋﾟｰ数の削減ﾘﾃﾞｭｰｽ（全体）	・期7月より品質向上委員会を発足し1年を迎えた。効果は着実に実を結んで来ている。 ・来期もｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰの小穴さんに月一回のみＱＣ会議に出席頂きアドバイスを請う。
環境負荷の少ない商品の 購入、開発	○	・ｻﾝﾃﾂｸ、ﾒﾌ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う 商品開発をすすめ、「通い箱」などを提案・普及に努める。	・今期も工場間の通い箱も何件か受注できた。 今後も継続的に提案を行う。
	○	・グリーン購入の推進	・グリーン購入リストに従い弊社使用文具の購入を行う。

5-2環境活動と結果（ガソリン・軽油使用量、重油使用量）

環境目標：前年比5%削減

単価：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
ｶﾞｿﾘﾝ	1,390.01	1,271.33	1,313.05	1,157.92	1,278.10	1,520.14	1,151.51	1,338.31	1,098.64	1,556.69	1,235.39	1,496.68	15,807.77
ｶﾞｿﾘﾝ目標値	1,194.09	1,516.81	1,319.41	1,117.99	1,414.77	1,145.82	1,100.95	1,485.54	1,228.45	1,209.37	1,080.29	1,331.80	15,145.29
評価	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×
軽油	1,556.40	1,436.01	1,567.72	1,289.62	1,392.13	1,514.80	1,038.34	1,495.34	1,177.81	1,307.99	805.11	1,222.16	15,803.43
軽油目標値	1,155.97	1,447.62	1,387.79	1,023.80	1,462.65	1,417.69	1,060.02	1,400.38	1,170.69	1,107.24	1,058.30	1,215.44	14,907.59
評価	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×

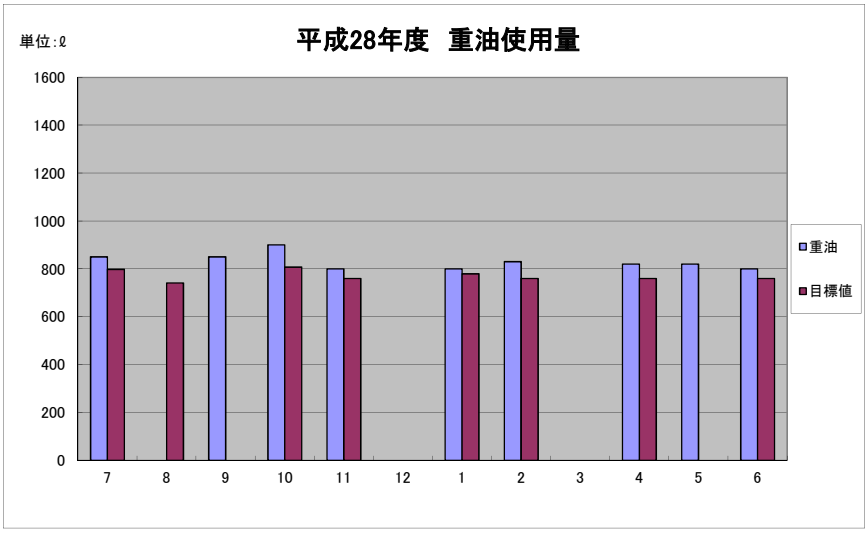


・ガソリン、軽油共に目標達成出来なかった。
・4月よりガソリン車使用の営業が一人増えたことにより一層目標達成は厳しい状況となってしまった。
・出来ることをそれぞれ考え1ℓでも燃料を減らす努力をお願いしたい。

環境目標：前年比5%削減

単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
重油	850	0	850	900	800	0	800	830	0	820	820	800	7,470
目標値	798	741	0	808	760	0	779	760	0	760	0	760	6,166
評価	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×



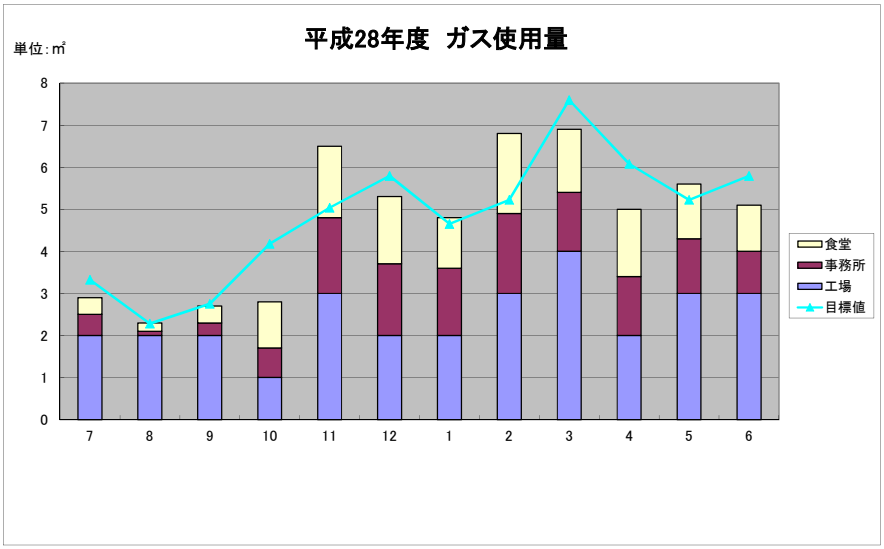
・前期の7月～6月までのアスパック販売量は3,507袋であり本年度は3,821袋と314袋増えた。8.2%増加である。
重油は、前期6,490ℓに対し今期は7,470ℓと13%の増加である
在庫や発泡倍率を考慮に入れていないが、前期は1.8ℓ/袋重油使用だったが今期は1.9ℓと多少多くなった。
現在重油は69円/ℓであり1袋にかかる重油代は前期@124に対し今期131円と7円ＵＰしている。
1円でも安く発泡できる工夫をお願いしたい。

5-1環境活動と結果(ガス使用量、灯油使用量)

環境目標：前年比5%削減

単位：㎥

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	2.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	2.0	3.0	4.0	2.0	3.0	3.0	29.0
事務所	0.5	0.1	0.3	0.7	1.8	1.7	1.6	1.9	1.4	1.4	1.3	1.0	13.7
食堂	0.4	0.2	0.4	1.1	1.7	1.6	1.2	1.9	1.5	1.6	1.3	1.1	14.0
合計	2.9	2.3	2.7	2.8	6.5	5.3	4.8	6.8	6.9	5.0	5.6	5.1	56.7
目標値	3.3	2.3	2.8	4.2	5.0	5.8	4.7	5.2	7.6	6.1	5.2	5.8	58.0
評価	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○

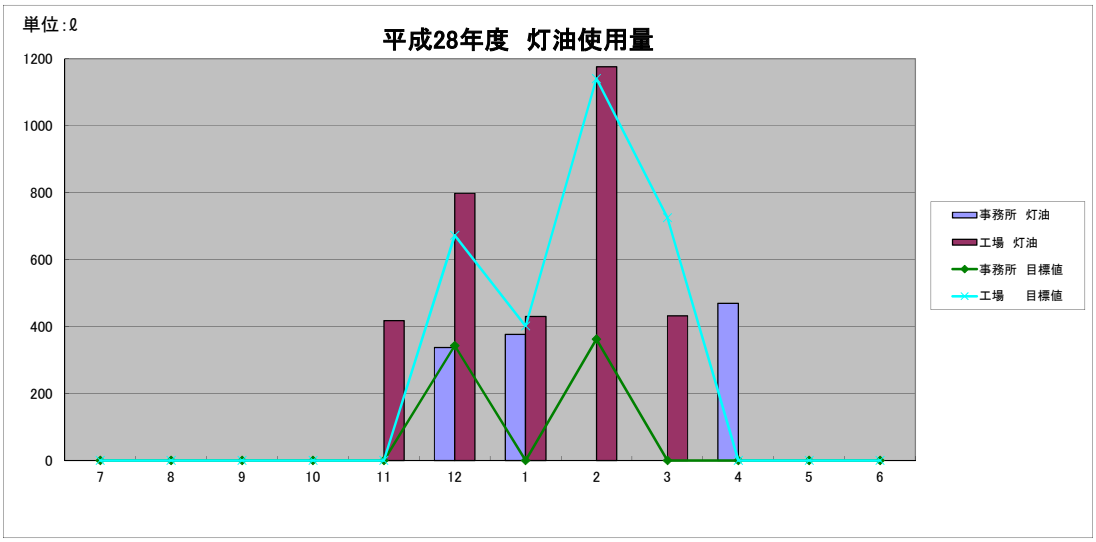


・今期は皆さんのがんばりで目標達成出来た。
・来期もお湯を沸かす時の水量に注意してほしい。（必要以上に入れるとガス使用量は当然増える）

環境目標：前年比5%削減

単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価	事務所+工場	総合評価
事務所　灯油	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	337.0	376.9	0.0	0.0	470.0	0.0		1183.9	×		
工場　灯油	0.0	0.0	0.0	0.0	418.0	798.0	430.0	1,176.0	432.0	0.0	0.0	0.0	3254.0	×	4437.9	×
事務所　目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	343.2	0.0	362.6	0.0	0.0	0.0	0.0	705.9			
工場　　目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	672.6	401.9	1,141.0	724.9	0.0	0.0	0.0	2,940.3		3646.1	



・事務所、工場共に目標未達成である。
・事務所は3月終わりに給油してしまったが、2/3以上は在庫として残っており、実際はもう少し目標値に近かったと思われる。
・工場の3,254ℓはＥＡ２１の統計をとって以来最大の使用量となってしまった。
　温度設定に問題はないか？暖かい日にもかかわらず惰性で使用していないか？不在な場所で点けっぱなしにしていなか？
　来期は考えられる想定をすべてクリアにして目標達成を目指してほしい。

5-3環境活動と結果（コピー用紙使用量、温室効果ガス推移）

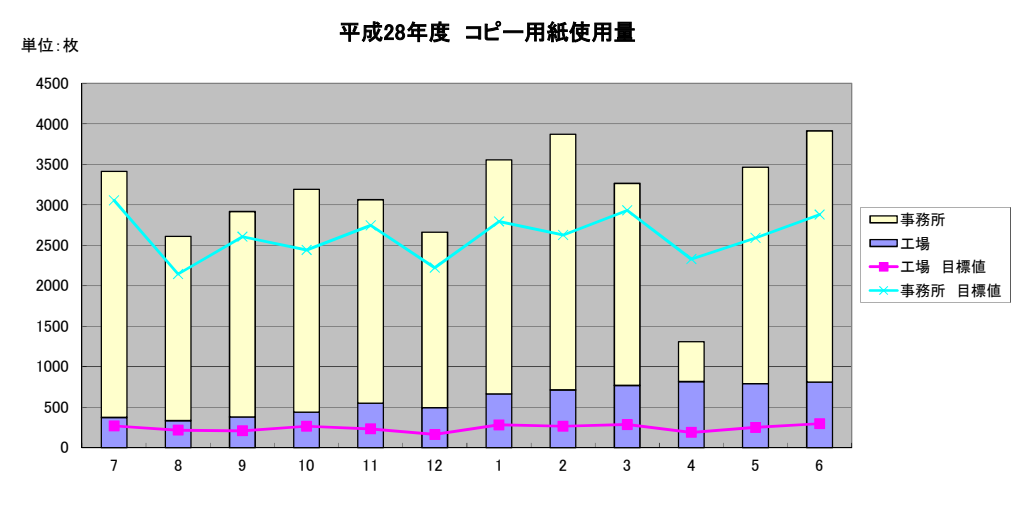
環境目標：前年比2%削減

ミカサ工場　　単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	374	334	380	437	549	492	665	713	769	816	790	809	7,128
工場　目標値	268	215	207	265	230	162	281	264	285	188	248	296	3,493
評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

ミカサ事務所　　単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
事務所	3,039	2,275	2,536	2,754	2,513	2,168	2,891	3,159	2,495	493	2,676	3,104	30,103
事務所　目標値	3,056	2,145	2,606	2,442	2,747	2,221	2,795	2,627	2,930	2,330	2,592	2,878	31,211
評価	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○



・工場の使用量が増えている。原因は品質向上プロジェクトの資料作成における増加とやむ終えないと認識しているが少なくする努力は継続してほしい。

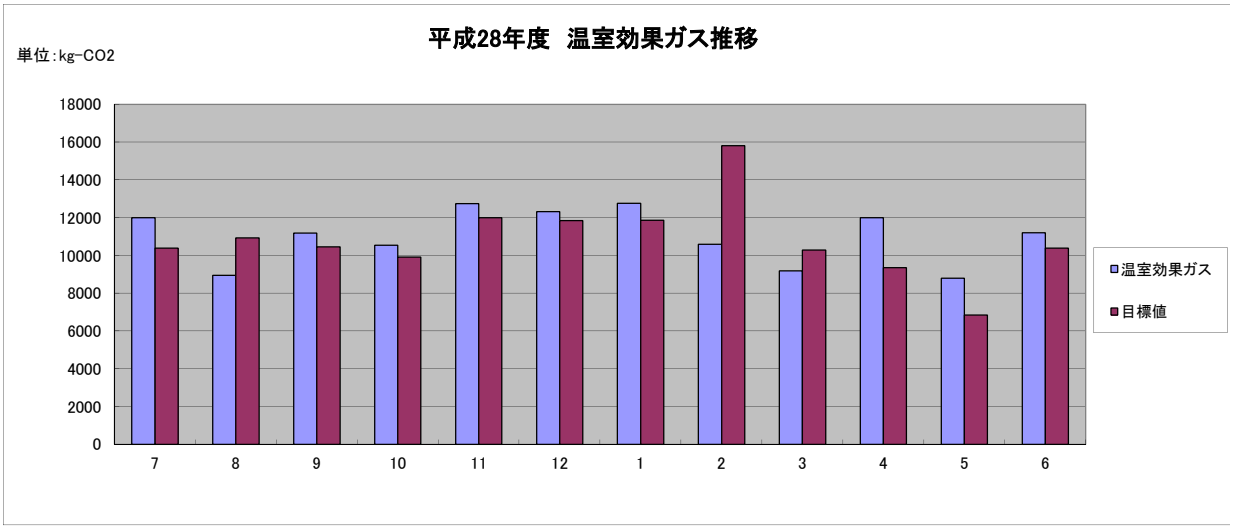
・事務所は目標達成出来た。4月の使用量が少ないのは事務所、工場と複合機をリニューアルした時、カウンター料金をサービスして頂いた結果であり、事務所の目標達成も実際は未達成であった可能性が高い。

・事務所、工場共に複合機をリニューアルした結果カウンター料金を大幅に値引きして頂いたが、それでもｶﾗｰｺﾋﾟｰは高価である。必要以外は極力白黒でお願いしたい。

環境目標：前年比5%削減

単位：kg-CO2

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
温室効果ガス	12,010	8,950	11,184	10,545	12,743	12,321	12,759	10,592	9,197	12,011	8,802	11,205	132,320
目標値	10,394	10,937	10,458	9,911	12,001	11,857	11,870	15,823	10,298	9,352	6,854	10,391	130,144
評価	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×



・目標未達成である。

・目標達成出来ている月が3/12しかなく全体的に厳しい状況である。

・温室効果ｶﾞｽはすべてのｴｺ活動を数値化したもっと重要な項目である。

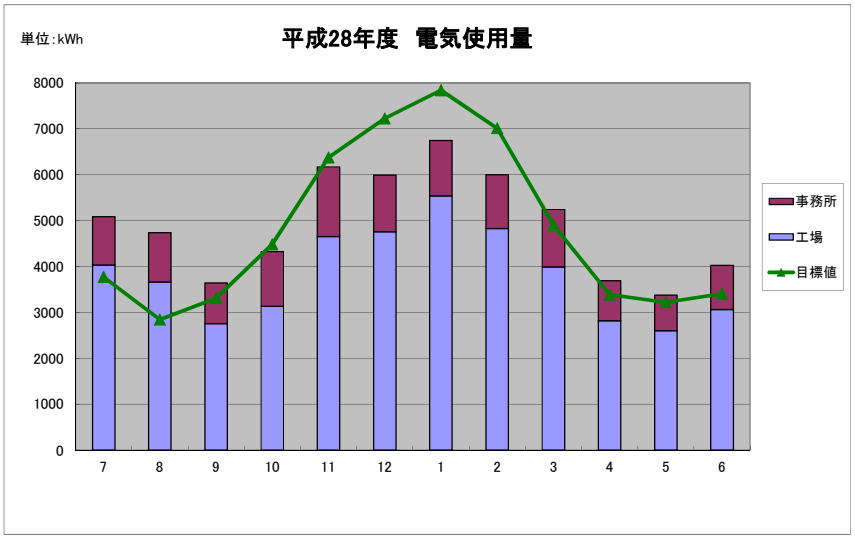
・こまかなことから今一度自分で出来ることを取り組んでほしい。

5-4環境活動と結果(電気使用量、上下水道使用量)

環境目標：前年比5%削減

単位：kWh

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価
工場	4,029	3,663	2,756	3,131	4,656	4,761	5,541	4,825	3,989	2,819	2,601	3,063	45,834	○
前年工場	3,985	2,718	2,678	4,331	4,915	5,247	6,241	5,145	4,505	2,629	2,685	3,286	48,365	
事務所	1,055	1,071	888	1,196	1,513	1,232	1,208	1,173	1,255	872	776	963	13,202	×
前年事務所	1,430	870	811	1,112	1,372	1,321	1,395	1,309	1,216	879	803	990	13,508	
工場＋事務所	5,084	4,734	3,644	4,327	6,169	5,993	6,749	5,998	5,244	3,691	3,377	4,026	59,036	×
目標値	3,772	2,845	3,312	4,481	6,377	7,228	7,839	7,013	4,907	3,386	3,221	3,407	57,788	
評価	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×		

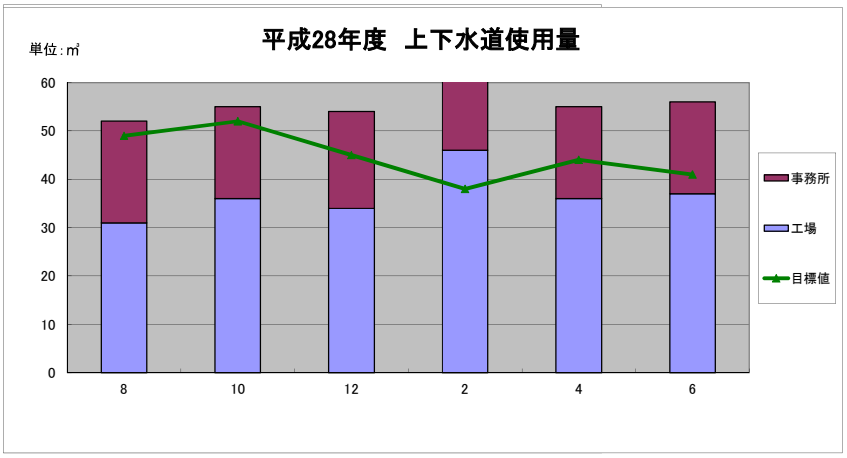


・工場は目標達成となった。
・今期終わりに工場の蛍光灯をＬＥＤに換えた。来期のＬＥＤ効果が楽しみである。
・工場では来期より夕礼を実施する事によって本当に必要な残業のみ行う体制へと改善する。
　残業時間を短縮する事も電気エネルギ-を減らす大きな要因となる為期待したい。

環境目標:節水の継続的な取り組み

単位：㎥

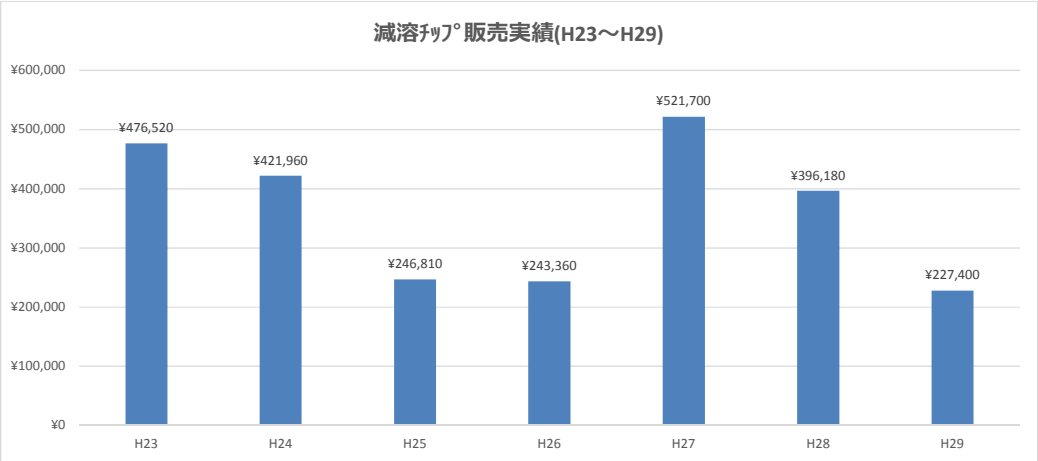
	8期	10期	12期	2期	4期	6期	合計
工場	31	36	34	46	36	37	220
事務所	21	19	20	17	19	19	115
合計	52	55	54	63	55	56	335
目標値	49	52	45	38	44	41	269
評価	×	×	×	×	×	×	×



・目標未達成である。
・特に2期目の工場46ℓはここ数年でも多すぎる。
・漏水の話はなかった為、蛇口の閉め忘れなどが無いかの確認を必ず行ってほしい。

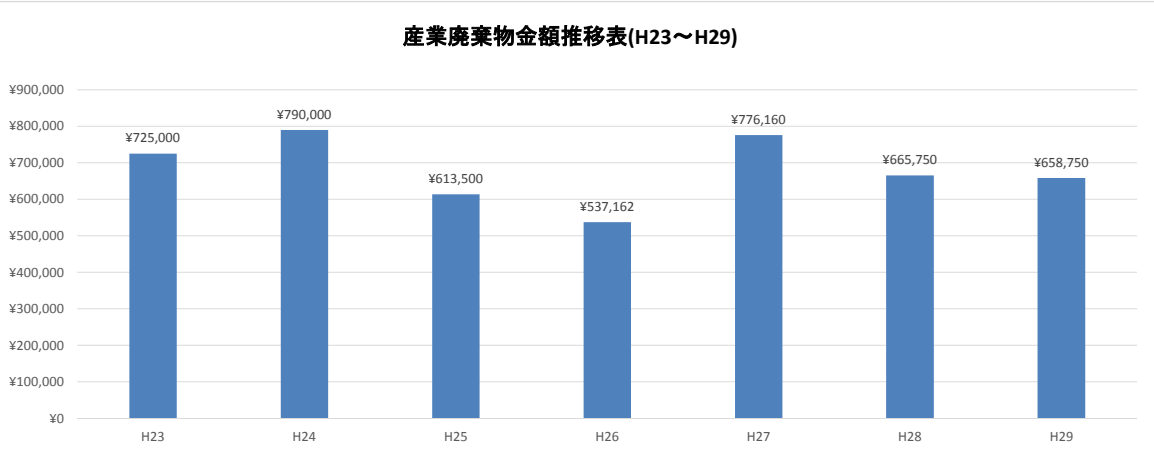
6.減溶チップ、産廃金額経年変化のグラフ（H23～H29）

減溶チップ環境目標：前年比5%アップ



	金額	減溶量（ｋｇ）
H23	¥476,520	16,600
H24	¥421,960	14,350
H25	¥246,810	10,050
H26	¥243,360	9,110
H27	¥521,700	17,390
H28	¥396,180	17,600
H29	¥227,400	15,160
目標値		18,480
評価		×

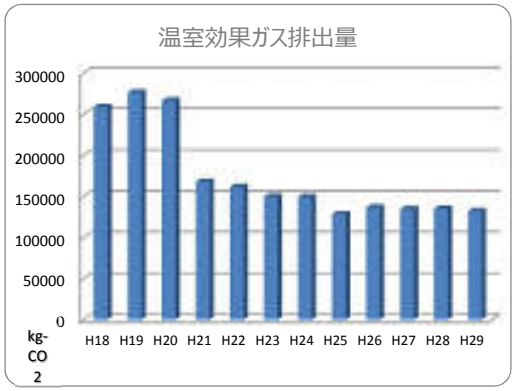
減溶チップ考察　・今期減容量（15,160kg）と目標値(18,480kg)達成出来なかった。
買取価格が2016.2～@15/kgとなっていたが中国の政策で受け入れが一時的にストップしている影響で、2017.8～@10/ｋｇとなっている。
総金額では￥227,400と前年の￥386180より▲￥158,780となってしまった。

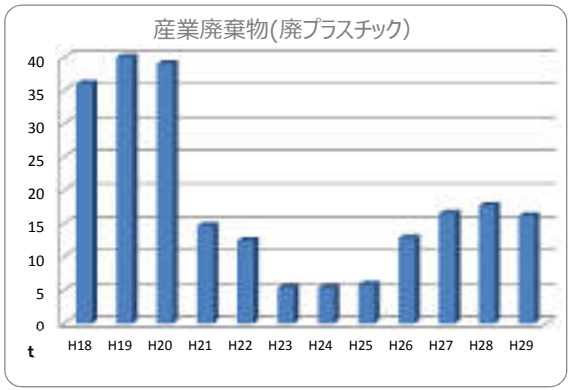


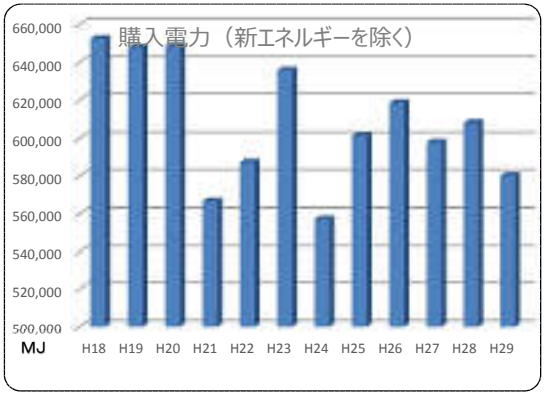
H23	¥725,000
H24	¥790,000
H25	¥613,500
H26	¥537,162
H27	¥776,160
H28	¥665,750
H29	¥658,750
総計	¥4,766,322
年平均	¥680,903
月平均	¥56,742

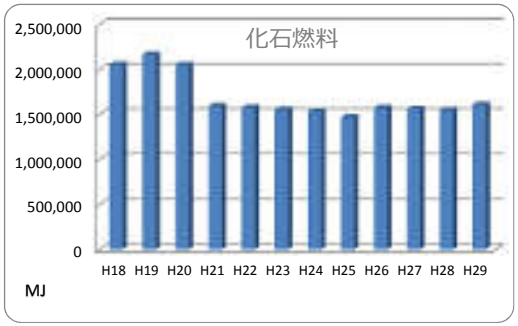
産廃考察　・産業廃棄物排出量の目標17.5ｔに対し今年度は16.15ｔと目標達成となった。

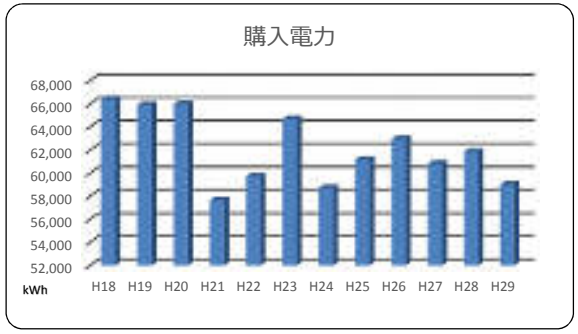
7.ＥＡ２１経年変化のまとめグラフ（Ｈ１８～H29）

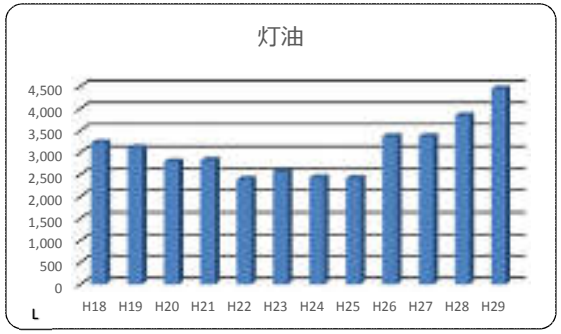


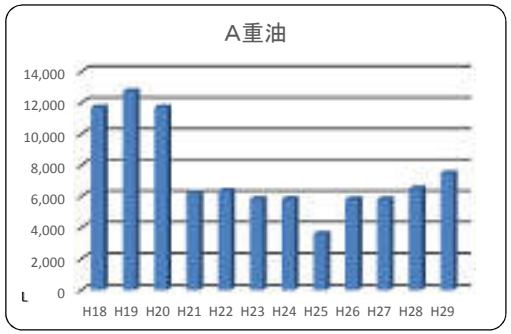


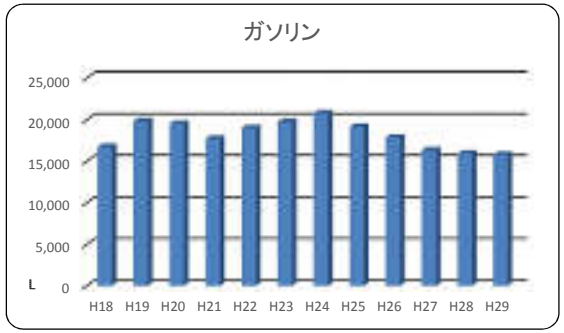


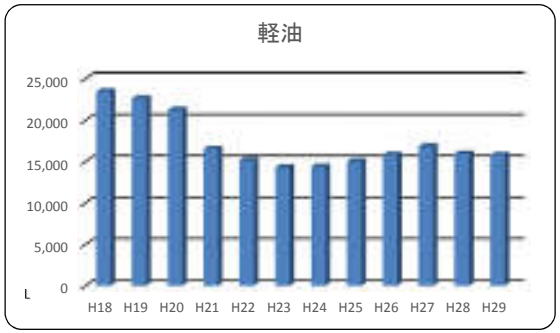












環境への負荷		単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO_2	258,971	276,743	266,732	168,032	161,792	149,976	149,447	128,482	136,777	134,874	135,260	132,320
産業廃棄物	廃プラスチック	t	36	40	39	14.64	12.44	5.36	5.34	5.81	12.81	16.5	17.7	16.15
エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）	MJ	652,643	647,983	648,622	566,856	587,381	635,971	557,384	601,379	618,788	597,949	608,211	580,324
	化石燃料	MJ	2,054,263	2,165,927	2,050,104	1,594,341	1,576,084	1,553,233	1,534,267	1,467,368	1,574,745	1,560,278	1,548,148	1,607,842
	購入電力	kWh	66,393	65,919	65,984	57,666	59,754	64,697	58,737	61,178	62,949	60,829	61,873	59,036
	灯油	L	3,219	3,107	2,790	2,817	2,389	2,564	2,429	2,411	3,361	3,361	3,838	4,438
	Ａ重油	L	11,700	12,730	11,700	6,220	6,350	5,820	5,820	3,590	5,800	5,790	6,490	7,470
	ガソリン	L	16,721	19,847	19,524	17,711	19,001	19,728	20,785	19,152	17,850	16,325	15,942	15,807
	軽油	L	23,454	22,628	21,235	16,543	15,177	14,306	14,387	15,017	15,826	16,843	15,962	15,803

平成19年度中部電力実排出係数0.47（kg-CO2/kW h）

H29.3.13消防訓練実施

事務所にて警報機の説明

事務所にて消火器の取り扱い説明

避難及び緊急時の対応についての説明

工場にて警報機、消火器の説明

大型液体消火器の取り扱い説明

参加者　事務所　社長、三澤専務、百瀬常務、山越部長、丸山課長、酒井係長、小穴
竹内、熊澤、小林
工場　加藤工場、菊池、山口、古幡、青木、久保田、柳澤、小出澤、上條、市川、遠山、斎藤、鈴木、三澤専務

講師　ＣＳＫ総合防災㈱

9.環境関連法規への違反、訴訟の有無

法律名	適用項目	要求事項	チェック結果
・廃棄物処理法 ・産廃物の適正な処理の確保に関する条例（長野県）	産業廃棄物（廃プラ）	○産業廃棄物処理基準（法12条）	○
		○産業廃棄物保管基準（法12条） ・周囲に囲いを設置 ・所定要件を備えた掲示板を設置 ・ほか保管基準に則した適正な保管	○
		○産業廃棄物処理委託基準（法12条） ・許可業者等に委託 ・許可業者等の事業の範囲（許可品目等）が適切 ・契約書（所定事項の記載、所定書面の添付）の締結、５年間保存 ・ほか委託基準に則した許可業者等への処理委託	○
		○マニフェスト（産業廃棄物管理票）等（法12条の３、12条の５） ・産業廃棄物引渡し時のマニフェストの交付（所定事項の記入）、Ａ票の保存（５年間） ・Ｂ２（積替えでＢ４、Ｂ６追加の場合あり）、D、E票の返送確認、保存（５年 ・期限内にマニフェストの写しの返送がないなどのとき又は処理業者から処理困難通知を受けたときは、速やかに処理の状況を把握し、適切な措置を講じる。（定める期限までに知事に報告も） ・マニフェスト交付等状況を知事に報告（毎年６月30日までに）（電子マニフェスト分は不要）	○
		○処理状況の確認等（条例11条、（法12条）） ・産業廃棄物処理の状況に関する確認と必要な措置 ・上記において、不適正な処理（又はおそれ）のときは、速やかに適切な措置を講じる。（定める期限までに知事に報告も）	○
		○不法投棄、不法焼却の禁止（法16条、16条の２）	○
	一般廃棄物	○一般廃棄物処理委託基準（法６条の２） ・許可業者等に委託 ・許可業者等の事業の範囲（許可品目等）が適切	○
・消防法 ・松本市広域連合火災予防条例〈限定的に扱う〉	少量危険物 指定可燃物	○貯蔵及び取扱いの技術上の基準等の遵守、届出（法9条の4、条例30条～34条の３、51条）	○
水質汚濁防止法	貯油施設	○事故時の応急措置及び届出（法14条の2）	○
フロン排出抑止法	業務用エアコン	○第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項（法16条） ・四半期に一度の簡易点検など	○
		○フロン類の放出の禁止（法86条）	○
		○第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務（法41条）	
		○第一種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等（法43条）	
		○引取証明書（法45条）	
		○費用負担（法74条）	
労働安全衛生法〈限定的に扱う〉	化学物質等	○安全衛生推進者の選任（法12条の２）	○
		○危険・健康障害防止措置（法20条～36条）	○
		○危険物、有害物の規制 ・名称等の表示等（法57条） ・文書の交付等（SDS）（法57条の２） ・リスクアセスメント（法57条の３）	○
		○安全衛生教育（法59条、60条）	○
		○健康診断等（法66条～66条の６、66条の８）	○
		○報告等（法100条）	○
		○法令等の周知（法101条）	○
		○書類の保存等（法103条）	○
松本市公害防止条例	騒音（送風機）	○公害発生時の措置（条例11条）	○
		○監視（条例12条）	○
		○規制基準の遵守義務（条例13条）	○

弊社にて関係法令尊守状況を再度ﾁｪｯｸを行い違反が無いことを確認した。
また関係機関・近隣住民からの指摘などは無く、また訴訟等は1件も無かった。

10.環境活動の見直し

廃棄物	・産業廃棄物排出量の目標17.5ｔに対し今年度は16.15ｔと目標達成となった。 ・今期減容量（15,160kg）と目標値(18,480kg)達成出来なかった。 買取価格が2016.2～@15/kgなっていたが中国の政策で受け入れが一時的にストップしている影響で、2017.8～@10/ｋｇとなっている。 総金額では￥227,400と前年の￥386180より▲￥158,780となってしまった。 ・今期3月に事務所、工場と同時に複合機のリプレイスを行った。カウンター料金の見直しによりランニングコスト的には効果が期待できる。 工場はＱＣプロジェクトの立ち上げにより大幅に増えてしまった。やむ終えないことではあるが不必要な印刷は控える意識は継続してほしい。 ・ＱＣ活動の成果として5S3定が定着し工場内倉庫が明らかに整理されている。 とり過ぎ材料や、不必要な在庫が無くなってきた。
二酸化炭素排出量の削減	・二酸化炭素排出量は目標達成には至らなかった。2,176/kg-CO２オーバーしてしまった。 ・電気では事務所側では目標達成までは至らなかった。＋370kWh ・工場の電気は目標に対して△113kWhと達成出来た。エアコンのリプレイスの効果が多少あったと思われる。 ・課題であった工場のＬＥＤ化を今年度最後に実現出来た。来期のＬＥＤ効果が楽しみである。 ・事務所では今期最後にサーキュレーターを2台設置した。空気の循環により夏冬のエアコンや冬のストーブの効果に期待したい。 ・工場のトラックを3月にリプレイスした。燃費ＵＰに期待したい。 ・ガソリン・軽油は未達成であった。今期4月よりガソリン車使用の営業が一人増員した。 目標達成は厳しい状況となったが、計画的に車両入替を行い補って行く。 ・灯油は昨年に続き計測開始史上過去最高量を記録してしまった。 温度設定に問題はないか？暖かい日にも拘らず惰性で使用していないか？不在な場所で点けっぱなしにしていないか？ 来期は考えられる想定をすべてクリアにして目標達成を目指してほしい。
水使用量の削減	・少しずつ増えている 初心に戻り節水をお願いする。
化学物質の管理	・化学物質管理規定に基づき管理できた。
法令等の遵守	・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底 ・緊急時の訓練を年1回実施した。 ・環境教育の推進
環境教育の推進	・社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する ・今期7月より品質向上委員会を発足し1年を迎えた。効果は着実に実を結んで来ている。 ・来期もｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰの小穴さんに月一回ＱＣ会議に出席頂きアドバイスを請う。
環境負荷の少ない商品の開発	・今期も工場間の通い箱も何件か受注できた。 今後も継続的に提案を行う。 ・グリーン購入リストに従い弊社使用文具の購入を行う。

11.代表者のコメント

　アメリカ大統領がトランプ氏に代わり半年以上が過ぎました。
就任当初予想された世界経済への影響も意外に少なく、日本経済も順調に好景気の状況で推移している様です。
車業界、半導体業界を中心に設備投資の動きが活発な一年間で、弊社も若干ではありますが、その恩恵を受ける事が出来ました。
これからの車のＥＶ化、自動運転への動き、そしてＡＩの普及により、車業界、半導体業界は好況が続く事が予想されます。
人手不足対策で省力化の設備投資も更に活発となる事と思います。
　昨年度は、工場の品質向上活動に力を入れさせて戴きました。一年間取り組んだ結果、工場の従業員の品質への意識が大きく変わり、不良品・製品ロスの削減へと繋げる事が出来ました。当初は５Ｓ３定から始めたため、一時的に産業廃棄物の量が増えてしまいましたが、後半には廃棄物を確実に減らす事が出来ました。
今年度も引き続き、更に上のステージを目指して品質向上活動にも取り組んでいきたいと思います。
　また、昨年は設備投資についても、コピー機のリプレイス、大型トラックのリプレイス、そして懸案だった工場の照明のＬＥＤ化に取り組む事が出来ました。
今年度この効果が数字に出てくる事を期待しております。
　北朝鮮の動向等不安要素はありますが、日本経済の好況の波に乗り、弊社も更なる発展を目指すと共に「限りある資源」を今一度認識し、社員全員一丸となって今年度も環境保全活動に取り組んでいきたいと思います。

平成29年8月17日

株式会社ミカサ
代表取締役社長
三澤　敏宏